別表第九号　試験成績書の様式(第46条の8関係)

第1　電子レンジ

確認番号	
型式名	

試　験　成　績　書

1 占有周波数帯幅に含まれる周波数の範囲	(1)　発振周波数	測定値	測定条件等	
	(2)　占有周波数帯幅	測定値		
2　高周波出力		測定値	測定条件等	

3 電源端子における妨害波電圧	測定値				
	周波数範囲	準尖頭値	平均値	測定条件等	
	(1)　150kHz以上500kHz未満				
	(2)　500kHz以上5MHz以下				
	(3)　5MHzを超え30MHz以下				

4　不要発射による磁界強度	測定値	測定条件等	

5 不要発射による電界強度	測定値				
	周波数範囲	準尖頭値	平均値	測定条件等	
	(1)　30MHzを超え80.872MHz以下				
	(2)　80.872MHzを超え81.88MHz未満				
	(3)　81.88MHz以上134.786MHz以下				
	(4)　134.786MHzを超え136.414MHz未満				
	(5)　136.414MHz以上230MHz以下				
	(6)　230MHzを超え1,000MHz以下				

	周　波　数　範　囲	尖頭値	測定条件等	
	(7)　1GHzを超え2.3GHz以下			
	(8)　2.3GHzを超え2.4GHz未満			
	(9)　2.5GHzを超え5.725GHz未満			
	(10)　5.875GHzを超え11.7GHz未満			
	(11)　11.7GHz以上12.7GHz以下			
	(12)　12.7GHzを超え18GHz以下			
6　定重み付け測	測　　定　　値		測定条件等	
	周　波　数　範　囲	尖頭値		
	(1)　1,005MHzから2,395MHz			
	(2)　2,505MHzから17,995MHz			
7　力束密度漏えい電波の電	測　　定　　値		測定条件等	
	(1)　扉を閉めた状態			
	(2)　発振停止の直前の位置まで扉を開いた状態			
	(3)　2倍の力で取手を引いた状態			
8　安全性	(1)　絶縁抵抗値その他きよう体の絶縁状況		測定条件等	
	(2)　高圧電気により充電される器具及び電線の収容状況			

注1　測定条件等の欄には、測定年月日、使用測定器名(形式、購入年及び製造者名)その他参考となる事項を記入すること。

2　5の欄の「測定条件等」には、設備からの距離を記載すること。

3　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

第2　電磁誘導加熱式調理器

確認番号	
型 式 名	

試　験　成　績　書

1　利　用　周　波　数	測　定　値			測定条件等	
2　周　波　数　変　動　幅	測　定　値			測定条件等	
3　高　周　波　出　力	測　定　値			測定条件等	
4　電源端子における妨害波電圧	測　定　値			測定条件等	
	周波数範囲	準尖頭値	平均値		
	(1)　10kHz以上50kHz未満				
	(2)　50kHz以上148.5kHz未満				
	(3)　148.5kHz以上500kHz未満				
	(4)　500kHz以上5MHz以下				
	(5)　5MHzを超え30MHz以下				
5　測定した電流　直径2メートルのループアンテナにより	測　定　値			測定条件等	
	周波数範囲	準尖頭値			
		水平成分	垂直成分		
	(1)　10kHz以上70kHz未満				
	(2)　70kHz以上148.5kHz未満				
	(3)　148.5kHz以上526.5kHz未満				
	(4)　526.5kHz　以　上　1,606.5kHz以下				
	(5)　1,606.5kHzを超え30MHz以下				

<table>
<tr><td rowspan="8">6
3メートル離れた地点での磁界強度</td><td colspan="2">測　　定　　値</td><td rowspan="8">測定条件等</td><td rowspan="8"></td></tr>
<tr><td>周波数範囲</td><td>準尖頭値</td></tr>
<tr><td>(1)　10kHz以上70kHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(2)　70kHz以上148.5kHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(3)　148.5kHz以上526.5kHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(4)　526.5kHz以上912kHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td>(5)　912kHzを超え4MHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(6)　4MHz以上30MHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">7
不要発射による電界強度</td><td colspan="2">測　　定　　値</td><td rowspan="8">測定条件等</td><td rowspan="8"></td></tr>
<tr><td>周波数範囲</td><td>準尖頭値</td></tr>
<tr><td>(1)　30MHzを超え80.872MHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td>(2)　80.872MHzを超え81.88MHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(3)　81.88MHz以上134.786MHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td>(4)　134.786MHzを超え136.414MHz未満</td><td></td></tr>
<tr><td>(5)　136.414MHz以上230MHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td>(6)　230MHzを超え1,000MHz以下</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">8 安　全　性</td><td>(1)　絶縁抵抗値その他きょう体の絶縁状況</td><td></td><td rowspan="2">測定条件等</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>(2)　電線の収容状況</td><td></td></tr>
</table>

注1　測定条件等の欄には、測定年月日及び使用測定器名(形式、購入年及び製造者名)その他参考となる事項を記入すること。

2　7の欄の「測定条件等」には、設備からの距離を記載すること。

3　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。